



TITLE:

和歌山県西牟婁郡白浜町の鴨居漁港で海面を滑走した淡水性アメンボ

AUTHOR(S):

久保田, 信

CITATION:

久保田, 信. 和歌山県西牟婁郡白浜町の鴨居漁港で海面を滑走した淡水性アメンボ. KINOKUNI 2009, 76: 22-22

ISSUE DATE:

2009-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/180703>

RIGHT:

© 和歌山昆虫研究会

和歌山県西牟婁郡白浜町の鴨居漁港で 海面を滑走した淡水性アメンボ

A fresh-water strider *Aquarius paludam* (Hemiptera, Gerridae) that glides on sea surface at Kamoi fishing port in Shirahama town, Wakayama Prefecture, Japan

久保田 信

淡水性のアメンボ *Aquarius paludam* が、和歌山県西牟婁郡白浜町の瀬戸漁港において、2000 年から 2008 年 4 月 16 日までに海面を滑走した年間わずか数回程度の稀な行動を記録した（久保田, 2004, 2006, 2008）。また、同じ町内の白浜町才野（通称、黒潮台）の磯浜のタイドプールを滑走した珍しい例も報告した（久保田, 2008）。今回、第 3 番目の地点として、鴨居漁港（白浜町才野）でも同様の現象がみられたので報告する。

鴨居漁港において 2009 年 4 月 30 日から同年 8 月末日までほぼ 2 週間に一回の頻度で、夕方の日の入り時刻前の 18 - 19 時頃に数十分間の観察を実施した。その結果、ただ一度であったが、下記のような遭遇となった。鴨居漁港はアメンボが滑走した既知の 2 地点から距離的には離れておらず、“黒潮台” からは東方にわずか約 1 km に位置することから、白浜町のあちこちで海面をアメンボが滑走することが、今後、期待される。

鴨居漁港の岸壁での初めての目撃例

2009 年 7 月 7 日午後 7 時すぎの日の入り近くの時間帯で 1 個体が滑走

引用文献

- 久保田 信. 2004. 海面を滑走するアメンボの記録. KINOKUNI, (65) : 9-10.
久保田 信. 2006. 体液すする「バンパイア」海面滑走する淡水性アメンボ. In「宝の海から白浜で出会った生き物たち」. pp. 80-81, 図版, 25.
久保田 信. 2008. 海面を滑走するアメンボの追加記録. KINOKUNI, (73) : 8-9.

(くぼた しん 〒649-2211 西牟婁郡白浜町臨海459 京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所)